

# 信頼築き共に中国市場へ展開， 普罗格とタクテックが戦略的提携！



右から6人目が普罗格の周志刚董事長，その左がタクテック佗美社長と山崎副社長

去る1月29日(月)，北京普罗格科技股份有限公司（以下，普罗格/本社・北京）と日本の株式会社タクテックとの戦略業務提携調印式が中国・武漢で行われた。普罗格は物流エンジニアリング会社であり，董事長の周志刚氏は，元中国医薬品卸第4位の九州通医薬品集团（2016年売上615.57億元，約9,849億円，日本の東邦薬品株式会社と業務提携している）物流事業部総経理だった人物だ。

普罗格は中国の流通・薬品・通販などの分野における実績数が多く，顧客から厚い信頼を獲得し，業績が年々伸びてきている。近年，物流技

術のイノベーションと顧客ニーズに合った提案が高く評価され，技術を生かし，倉庫のエンジニアリングからオペレーションまでのワンストップサービスに注力している。その実績が評価され，アリババの物流グループ・菜鸟集团の戦略パートナーの1社に選ばれ，全国的な物流拠点を構築している。

今回の調印式には，日本からタクテックの代表取締役社長・佗美好則氏と副社長山崎整氏の2名が参加した。調印された内容は，タクテックの主力商品GAS（Gate Assort System）の中国販売総代理店契約を結ぶもの

だった。両社のトップは今後の展開について熱く語り，これをきっかけに日中の物流関連業界への貢献を図っていくと互いに意思を確認した。

調印式が終わった後，約50名の普罗格の社員に向け，山崎副社長が日本の物流最新事情について講演した。また今回の提携に携わっていた上海爱施特信息咨询有限公司の総経理・施琴氏，副総経理・姚红芳氏の2名も参加。施琴総経理が日中の商習慣の違いと社員のモチベーションについて講演した。

MF



タクテック佗美社長と普罗格の周志刚董事長が業務提携書を交わす



タクテック山崎副社長と普罗格自動化事業部 総経理の吕远氏が第1号の売買契約を交わす